

医療法人せいざん

介護老人保健施設あおやま

あおやま通信

先月の豪雨災害より1ヶ月が経過しましたが皆様のご様子はいかがでしょう。豪雨直後は施設の周辺の電話回線が不通になった事で安否に関する連絡を受ける事が出来ず大変御心配をお掛けしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

現在は災害復興に従事されている皆様やボランティアの方々の御陰でいつもの日常が段々と戻ってきています。ですが、台風などによる2次災害には今後も細心の注意が必要かと思われます。皆様も十分にお気を付け下さい。

利用者様への影響といたしましては、道路が寸断された事により食料品の納入がストップしました。もともとあった備蓄と豪雨翌日からスタッフが買い出しに行く事で当面は何とかなりました。その後は呉市からの支援物資と道路の開通が早かった事により食料品の確保については早い段階で目途が立ち安心しました。



食事の心配は無くなりましたが断水になる事で食器が洗えなくなる事には大変困りました。

豪雨の翌々日から使い捨ての食器を確保するために奔走しましたが、カレー用の皿やスプーンが売り切れている事が多かったです。



皆様も苦労されたと思いますが、当施設も断水には悩まされました。

断水当初はタンク内の水を長く持たせるために節水する等やり繰りしていましたが数日経つと空になりました。ですが、当施設は地下水(ラドン泉質)があったため、呉市内の高齢者施設が入浴を提供出来ないなか、数少ない入浴可能施設として皆様に入浴していただくことが出来ました。

前述したように当施設は地下水(ラドン泉質)があったため、入浴やトイレを流す事が出来ましたが、施設で使用する水を全て地下水で補うには厳しい部分もありました。

ちょうど我々が限界を感じ始めていた頃(1週間後くらい)に福井県の災害派遣の救援隊と陸上自衛隊(福岡)から当施設のタンクへの給水を受けることが出来ました。

タンクが満杯になるまで給水していただけたという事だったのですが、この酷暑のなか何往復もしていただき大変助かりました。



大きな車(陸上自衛隊)の音につられて託児所の子どもたちも手伝い(?)に来てくれました。隊員さんも優しく接してくれました。

いつもの日常が戻って来るには時間が掛かるかと思いますが、一日でも早く平穏な生活が帰って来ればと思います。